

# 閉会の辞

国際化推進機構長  
異文化コミュニケーション学部教授  
池田 伸子 氏



○池田 先生方、今日は本当にありがとうございました。立教大学はこれまで、あまり積極的に海外からの留学生を受け入れるということをしてこなかったというふうに私自身は感じています。でも、やっぱり日本がこれから大きく変わっていきます。もう先生方も知っているように、日本の人口はどんどん少なくなって、高齢者の割合が高くなって、日本はこれから、外国の人たちと一緒に、日本の国の中で生活をしていかなければいけないというふうに思っています。

そんなときに、大学として、やはりいろいろな学生と4年間勉強して、卒業していく環境というのはとても大事だと思っていますし、もう一つ、日本の大学の使命として、海外の、特に同じアジアという地域に住んでいる人たちを立教大学で勉強してもらって、で、立教大学で学んだその知識とか経験を持って、卒業した後、より幸せになってもらうという、そういうアジアの人たちを育てていく必要があるというふうに思っています。タイからもフィリピンからも、残念なことに、今、立教大学の中の本当の正規の学生として勉強している学生は本当にいないんですけど、これからはぜひ立教大学で受け入れていきたいと思っています。先生方から今日いろいろ教えていただいた、この機会をこれからもずっと、このつながりを続けていって、タイとフィリピンと立教大学のつながりを、どんどん強いものにしていきたいと思っていますので、ぜひ今後ともよろしく願いいたします。

今日は本当にありがとうございました。

○丸山 ありがとうございました。それでは、ちょうどお時間になりましたので、本日の講演会、これで終了としたいと思います。遅い時間までご参加くださりまして、ありがとうございました。